

ゆやの子わいわいスナップ!



みんなのひろば

## くらすめ～る

学級通信 川尻小学校3年

担任：福田敦宏先生  
児童：9名

### 子ども色にそまれ

よし、今日も一日がんばるぞ。自分にそう言い聞かせ、三年の教室へ入っていく。「おはようございます。」  
「おはようございます。先生、何か声がかっこいい!」  
「風邪気味で喉がおかしいのに、こっちの方がかっこいいだつて。トホホ...」  
「先生、私またこけて、けがをしたんちゃ。」  
「うーん、よくこけるなあ。」  
「先生は好きな人おらん?」  
「いるよ。このクラスの子。」

「えー、いやだあ。(笑)」  
こんな調子で、気がつけばいつも子ども達のペース。少し前「俺色にそまれ」という歌がはやったが、ここでは自分が子ども色にそまる毎日。でも、元気いっぱい九人の笑顔を見ていると、それもいか、と思ってしまう。  
よし、今日も子ども色にそまってがんばるか!  
「はい、当番さん。始めましょう!」



生涯学習

## サークル

箏春会



▲箏春会のみなさん  
▼正月の弾き初め会 ▼文化祭での演奏



毎週一回お琴の練習をされているのは箏春会のみなさん。代表かつ先生の藤田千勢さん(人丸)のお宅でマンツーマンで稽古をされているそうです。昭和四十八年にできたこの会は、現在会員六名で、敬老会・ふれあい福祉まつり・文化祭などで優雅な演奏を披露されています。  
琴は十三本の弦があり、三本の指に爪をはめて演奏します。楽器は弦が多いほど簡単だそうで、比較的とつきやすい楽器だということです。琴の流派は山田流と生田流に大別され、この会は生田流。角爪を使い、琴に対して斜めに座るのが特長とか。

「友達からさそわれて花嫁修業の一環として始めました。(笑)」  
「ほけ防止に始めました。もっと若いころにこのすばらしい楽器にめぐり会っていたらよかったです。」  
「一人でできますし、弾いていると心が落ちつき時間のたつのを忘れます。」  
「生活に追われているときこそ、琴の音色がいいですね。」とみなさん。やはり、琴の音色は日本人の心の琴線に触れるものがありますね。  
みなさんも「春の海」を本物の琴で弾いてみませんか。会費は月三千元です。  
申込・問合せ先■藤田千勢さん  
☎32・0028